

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	大和メディカル株式会社	事業所名	看護小規模多機能かしの木
所在地	(〒 990 - 2483) 山形市上町四丁目 6 番 2 4 号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

看護小規模多機能の特性を生かし、訪問看護と連携しながら胃瘻や経鼻経管、喀痰吸引、留置カテーテル等、医療ニーズの高い利用者も積極的に受け入れ、質の高い看護・介護の支援を行っている。在宅の利用者も徐々に増え、通い・泊り・訪問と小規模多機能ならではのサービス提供が行えるようになった。機能アップに繋がったケースもあり自立支援の取り組みが実を結んでいる。困難ケースでは、地域包括支援センター、おれんじサポートチーム等を含め協働で支援するなど、多機関との連携強化を図っている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2019 年 10 月 29 日	従業者等自己評価 実施人数	(10) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2020 年 3 月 13 日	出席人数 (合計)	(4) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (____ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (____ 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (____ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境の継続 ・慢性的な人員不足の改善 ・言葉遣いや職務等、接遇や倫理に関する研修 ・介護員会議の開催（年1回、振り返りの機会） ・法人全体で新しい人事評価システム導入と連動した育成計画 ・法人全体の災害対策委員会発足、その中で地域協働の避難訓練の検討 ・事業所便りの毎月発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・家事都合等に合わせた希望休を取り入れたシフト組み ・人材募集 ・事業所内にて倫理（5月）、接遇（6月）勉強会実施 ・人事評価システム導入見送りに伴い、再検討 ・介護員会議は今年度未開催 ・災害対策は委員会中心に話し合い継続 ・事業所便りの発行継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足の中でも、希望休や勤務変更等の職員間の協力が行えている ・人事評価と育成計画は切り離せない、計画あつての評価である、最低出来ていなければならないラインがあり、それができていることが前提で、教える側も学ぶ必要がある ・地域を交えた避難は、今後も継続して検討して欲しい ・お便りを毎月発行している事業所は少ないので良い取り組み、回覧板を活用している事業所もある ・サービスの特性や事業所理念は全員が理解していることが望ましい 	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議や新規の初回面談等、看護師、介護員の同行継続 ・本人や家族の要望に応えられるよう、アセスメントに基づいたプランの策定（自立支援） ・全利用者に対して「人生の最終段階における医療・ケアの事前確認書」による意思確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師同行による初回面談は毎回実施、介護員同行は業務をみて調整 ・プラン策定後、担当者会議に於いて方向性の統一 ・ターミナルケアの段階と判断したケースに於いて取り組み実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね取り組み出来ている
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師、介護員リーダー会議（月1）の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー会議及び特定行為業務等関係者会議は概ね月1回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね取り組みできている ・会議や話し合いを通じて、看護介護双方 	

	～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定行為業務等関係者会議の継続 ・必要な機関への相談、報告の継続 ・看取りカンファレンス、ケース検討会の随時開催 ・運営推進会議における情報交換、情報提供を通じ、地域への関わりを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括や医療機関等との連携 ・終結ケースの振り返り、ケース検討会の開催（随時） ・運営推進会議での事業所の運営状況報告、情報交換の実施（年4回） 	向のコミュニケーションが取れる様になったが、情報共有の方法は課題がある
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護の積極的な支援 ・利用者、家族の思いを傾聴した、介護指導、助言の実施 ・ケースを通じた地域との関わり、サロン、総会等と係わる、地域とのコミュニティーの形成 ・施設を開放したサロンの定期的開催(関係機関等と相談の上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、居宅介護支援事業所へのリーフレット配付 ・利用者、家族の意向を聞き、個別対応の実施 ・町内会総会、消防訓練、町内ゴミ拾いへの参加 ・町内会活動への施設開放（サロン開催は未定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に係る活動は今後も継続して欲しい ・事業所の強みがはっきりすると地域にアピールできると思う ・訪問看護事業所としての強みを掘り下げて考える必要がある
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な勉強会や働きやすい職場環境、研修情報の掲示、看護介護の会議等、出来ていることは今後も継続 ・サロンの定期開催に向けた関係機関との協議、相談 ・事業所便りの定期発行 ・地域との避難訓練や災害時対応の協議 ・推進会議等を通じた地域情報の把握 ・訪問看護による地域向け健康相談の開催（包括等とニーズを把握して） ・人材育成の計画（人事評価制度）と人員の補充、人材育成に関する研修参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得の推進 ・ケアの底上げ（個別指導） ・職務階層に合わせた外部研修への参加（中堅職員キャリアパス研修、リーダー研修） ・家事都合等に合わせたシフト調整 ・ネットワーク連絡会等の参加 ・チームわん・つー発足、参加 ・かしの木便りの毎月発行 ・各会議の定期開催 ・災害対策委員会による話し合いの継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士受験者1名、結果はこれから ・看護計画書等、看護が関わる部分の勉強を行い、看護業務の理解は深まった ・ケアの底上げという点では、外部訪問は目が届かない分、ペアで入る指導方法も ・地域貢献にも力を入れ、医療の知識も深めて欲しい ・チームわん・つー参加し、事業所の種別を超えて横の繋がりを持つことが出来た ・地域への取り組みは、始めた後、継続していけるかが課題

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育成計画は毎年の課題、ケアの質の向上、ケアの幅を広げることは利用者の為でもある ・ 医療の知識を深める等、人材育成の場が重要 ・ 評価する側、指導する側も学んでいく必要がある ・ サービスの特徴や事業所理念の理解を深める取り組みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働きやすい職場環境の継続 ・ 慢性的な人員不足の改善、人材募集の継続 ・ 毎月テーマを設けた計画的な勉強会の実施（動画研修） ・ 育成計画は他事業所の取り組み等を参考に検討 ・ 法人の介護理念、事業所の運営方針の周知 ・ 来年度に向けた事業所の目標設定 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね取り組み出来ている ・ 出来ていることを今後も継続していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議や初回面談等へ看護師、介護員の同行 ・ 本人や家族の要望に応えられるよう、アセスメントに基づいたプランの策定（自立支援） ・ 外部訪問へ定期的に同行し、ケア内容の確認、指導
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね取り組みできているが、情報共有の手段は工夫が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一日1回、看護介護の申し送りの実施 ・ リーダー会議、特定行為業務等関係者会議（月1）の継続 ・ 多機関への相談、報告の継続 ・ 看取りカンファレンス、ケース検討会の随時開催 ・ 運営推進会議、ネットワーク連絡会における情報交換、情報提供を通じ地域と係わりを持つ
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね取り組みできている ・ 町内に係る活動は今後も継続して欲しい ・ 自分たちの強みは何かを知り、地域拠点としての役割を期待 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅介護の積極的な支援 ・ ケースを通じた地域との関わり、サロン、総会等を通じた地域とのコミュニティーの形成 ・ 施設を開放したサロンの定期的開催（関係機関等と相談の上）
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善計画に対し、実によく対処している ・ 全てに完璧さを求めず、できていない評価でも今後の伸びしろと捉え前向きに取り組んで欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来ていることは今後も継続 ・ 災害時の地域での役割は今後も検討継続（地域協働） ・ 利用者の自立支援に向け、本人、家族の意向に基づいた支援 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1	14			・出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 在宅の看取りなど看多機に求められているものを具現化しようとしている（特に①④） 地域包括への貢献は中々できていない					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	3	9	4		・サービスの特徴や事業所理念は全員が理解していることが望ましい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 利用者の要望に添う努力が必要 看多機の特徴は理解している 看多機の特徴を十分に理解できていない スタッフもいると思う 理解していても十分な実践とは言えない					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	2	5	8		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを図る工夫が必要 ・育成計画は、最低出来ていなければならないラインがあり、それができていることが前提の考えであること ・年代、経験の違いでケアの内容にばらつきが出ないように、指導の工夫を 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	4	8	3		<ul style="list-style-type: none"> ・研修の声がかかるのを待つのではなく、自ら学ぶ姿勢を持つこと ・医療に対する知識も深めて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	3	11	1		<ul style="list-style-type: none"> ・出来ている事を継続して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	12	1		・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 議事録確認 連絡会や会議などで伝達					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	12	1		・ 出来ている事を継続して下さい ・ 人材募集は法人全体で取り組んで下さい ・ 様々なところで「介護」の魅力を発信できるといい	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます ✓
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> パート勤務のフォローも十分できている 体調不良のスタッフへのフォロー 個別面談で精神的な支援ができている 人員不足はあるが、お互いのフォローでカバーしている 急な勤務変更にも協力し合っている 職員が増えても利用者の状況で、新たに 取り組む業務が増えた 職員同士の問題解決が難しい					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	5	9	1		・ シフト制というのも障害になっているかもしれない、同行訪問等で統一したケアが行えると良い	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 申し送り、業務日誌、連絡帳の活用 十分伝わりきれていないときがある 随時更新はスムーズではないと思う					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	4	10	1		・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 会議や各委員会でも問題点等を話し合い、会議等で報告している 各種マニュアルが作成され、対応できている 送迎・訪問等の外出時は時間に余裕を持って行うべきだが、それができていないと思う 定期的な車両点検と防災訓練を実施					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	4	10	1		・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 緊急時の連絡先、連絡方法が明確 事業所だけでなく施設全体の取り組みがある 緊急時マニュアルがいつでも閲覧できる 少しずつではあるが、緊急時や災害時の対応整備が進んでいると思う 職員の招集方法等、細かい点のマニュアルが必要					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	4	11			・ 出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	3	10	2		・ 出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考え	4	11			・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	を把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	[具体的な状況・取組内容] 目標が明確で、それに向けてケアできている 利用者、家族の思いが反映されている				さい	成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	4	9	2		・ 出来ている事を継続して下さい さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	4	8	2	1	・ 出来ている事を継続して下さい さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	5	10			<ul style="list-style-type: none"> このようなサービスを求めている人は多いと感じる これからの社会に必要なサービスである 	<ul style="list-style-type: none"> 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	8	7			<ul style="list-style-type: none"> 出来ている事を継続して下さい 事業所の特性を理解した相談が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	3	12			<ul style="list-style-type: none"> 出来ている事を継続して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	4	10	1		・事業所のシステム、特徴を理解することは看護師も同様、理解した上で役割分担を	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 職種の違いで意見の相違はあるが、話し合い等を通じて役割分担が行えている柔軟な分担ではないと思う役割が曖昧と感じる時もある					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	12			・出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 情報共有の機会はある対応策の検討はリーダー会議等で行われている					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	3	12			・出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 会議等でケース毎に話し合いをしているいつでも看護師に相談できる環境看護師同士で言う事が違い、支援に迷うときがある					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	11			・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者、家族からの質問等には上司等に確認して説明している 分かり易い説明がされている					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	3	11	1		・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 必要に応じて処置や内服等の相談を行い、在宅生活継続の支援ができています 分かり易い説明はできていると思うが、利用者の理解度は不明					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	10	1		・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します ✓
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看護師の指導の下、できている 利用者や家族から質問があれば、対応している					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サー	6	8	1		・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 生活に対する意向を聞いた計画作成がで					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
	ビスの提供に反映している	きている 毎月の予定は利用者や家族の都合に合わせて計画できている					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	4	9	1	無回答 1	・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	9	5		無回答 1	・ 出来ている事を継続して下さい ・ 終末期に限らず記録の重要性を痛感している、文章、報告書作成の指導に力を入れている	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅	5	9	1		・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 入院時情報提供や退院前実調で情報共有					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	生活への移行を支援している	できている					✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	4	10	1		・ 出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	7	8			・ 出来ている事を継続して下さい	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	4	9	1	無回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来ている事を継続して下さい ・ 運営推進会議は地域の情報や事業所の運営を知る良い機会になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	9		無回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来ている事を継続して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	7	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来ている事を継続して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的と

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		地域向けの活動は積極的とは言えない 自分自身の取り組みがない					した活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	2	6	6	1	・ 出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	11	4			・ 出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	2	2	3	7	・出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します ✓
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 【無回答1】 ハード面で受け入れできない 受け入れ範囲が限定（ニップ等）					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	5	8	1	無回答1	・出来ている事を継続して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 受け入れ体制は整っている 相談内容によっては、受け入れに悩むケースもある					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	5	8	無回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ている事を継続して下さい ・自ら学ぶ姿勢を持つこと 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	4	6	4	無回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ている事を継続して下さい ・在宅の相談で檜の木の名前が出るようになったのは、事業所の特性が理解されたからではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	3	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ている事を継続して下さい ・始めた後、継続できるかが問題 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>地域への問題提起や改善策の提案は不十分と思う</p> <p>看護師の講話等はニーズがあると思う</p> <p>個人の取り組みがない</p>					<p>て得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	無回答1	7	6	1	<p>・ 出来ている事を継続して下さい</p> <p>・ (40) 同様に、地域への取組を始めた後、継続できるかが問題</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている【7】 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている【5】 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている【2】 4. 利用者の1/3には満たない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 【無回答2】 利用者のニーズに合わせて支援し、自立まで至ったケースもあるが現状維持が多い	・出来ている事を継続して下さい ・みんなで目標を考えてみてはどうか	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている【5】 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている【9】 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 【無回答1】 看護師と連携を図り対応できている	・医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点として今後期待したい	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている【6】</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている【7】</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている【1】</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p>【具体的な状況・取組内容】【無回答1】</p> <p>看取りの説明や同意はきちんとできている</p> <p>家族の思いに応えられるように取り組んでいる</p>	<p>・出来ている事を継続して下さい</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>